

飼育日誌

Breeding diary

7/2	チリーフラミンゴ	6/25に日立市かみね動物園から搬入した新個体2羽を群れに同居する。
7/3	プレーリードッグ	仔3頭ともメスだった。
7/5	ミーアキャット	ライラ♀ 麻酔下処置(舌が鶏頭の気管により絞狭)本日入院、明日退院予定。
7/6	カピバラ プレーリードッグ アムールトラ	コムギ♂ 溺れかけてパニックになる。 親仔屋外展示場に出す。 シュウ♂ ワクチン接種。
7/7	アフリカゾウ	室内2階から古タイヤフィーダーで給餌。
7/8	トナカイ	ルドルフ♂ 体重測定・放牧。
7/9	プレーリードッグ	前日行方不明の仔1頭姿確認。
7/11	ジャンボウサギ ミーアキャット カリフォルニアアシカ ユキヒョウ	ジョージ♂ ギブス交換処置。 福井群に蜂の巣給餌。 竿燈馴致。 スポットクーラー設置。
7/19	モモンマーモセット	モコ♀ 病院から新世界サル舎へ移動。
7/21	キリン	♂♀夏バテ気味。採食スピード遅い。
7/22	ニホンイヌワシ	月子♀ 採食無し(3日目)。
7/23	スバルバルライチョウ	避暑のため3羽隔離棟へ移動。
7/25	ヨーロッパフラミンゴ	糞プールに入る。
8/1	トナカイ	春來♂ 熱中症の状態となったため、直接散水計4回実施(合計1時間程度)。 なかよしタイム熱中症警戒アラートのため中止。
8/12	フラミンゴ	オキアミ給餌終了。
8/16	キリン	リンリン♀・ケイタ♂ 監視下で同居実施。
8/20	アメリカビーバー	レントゲンによる妊娠判定(妊娠している可能性大)。
8/21	ミーアキャット	同居訓練。
8/22	モモンマーモセット	交尾確認。
8/24	カラスヘビ	ピンクマウス1匹強制給餌。多量の排膿あり。
8/26	アメリカビーバー	チャチャ♀ 朝、胎動のようなもの確認。
8/27	ミーアキャット	♀群終日同居。
9/2	ワコブラクダ ミニブタ	福♂ 発情のような行動が見られた。 トン平♂ 口腔内腫瘍一部結紮(けっさつ)。
9/4	トナカイ	ルドルフ♂ 攻撃性あがったため、本日から間接飼育開始。
9/6		インコ舎へ観葉植物/パキラ(Amazon欲しいものリスト寄贈品)設置。
9/10	ヨーロッパフラミンゴ	わかば 自力採食確認。
9/12	キョン	ノゾム♂ 袋角の皮膚が剥ける。
9/17	アフリカゾウ	自動給餌器設置し稼働。
9/24	カリフォルニアアシカ	アイラ♀ 6日ぶりに食欲あり。
9/26	トナカイ	しなの♀ 角の皮膚がほとんど剥がれていた。
9/28	チンパンジー	ボンタ♂ 寝室シュートフェンス破損。午後より簡易補修。
9/29	ワオキツネザル	B群♂1頭の陰嚢に裂傷確認したため、右睾丸摘出。夕方群れに戻す。抗生剤内服開始(1週間)。
9/30		サル山一斉捕獲。
10/1		サル山全頭の個体識別。
10/3	オカメインコ アフリカゾウ	2羽おかめハウス室内へ放鳥。 自動給餌器稼働。完食した様子。

10/7	フクロウ	たけこ♀ 病室5(避暑)から旧病院へ移動。 資料館ゼニタナゴの二枚貝7個への産卵を確認。 60cm水槽での貝のみの管理をスタート。 高病原性鳥インフルエンザ講習会。
10/10	カナダヤマアラシ	展示場へ移動。
10/13	ユキヒョウ	リヒト♂ トレーニング(筋注想定)。
10/15	コツメカワソウ	3頭一時的に同居となった。
10/19		インコ舎サッシ設置。
10/20	トナカイ	ルドルフ♂ ♀への執着強くフェンスに角を擦るため下段のみで管理する。
10/23		高病原性鳥インフルエンザ警戒期間開始。
10/24	ユキヒョウ	アサヒ♀ 展示中に柵越し横付けでワクチン接種成功。
10/25	マーコール	フルミ♀ 起立不能、隔離棟で治療。
10/31	チリーフラミンゴ キリン	スグリ♂ ぶらついて転倒することが多い。 交尾直前で離すことに成功。交尾に至らず。
11/2	ノドジロオマキザル	サンドバッグ設置。
11/3	カピバラ トナカイ	新規個体展示訓練(寝室↔ガラス展示場)。 春來♂ 両角落角、跛行やや重め。
11/4	カリフォルニアアシカ	マヤ♂ 左口角の口唇炎悪化、抗生剤内服開始。
11/5	ホンドリス	個体識別。
11/9	アメリカビーバー	チャト♀ 麻酔下での下顎切歯の歯切り処置、体重測定。
11/11	レッサーパンダ	ひなた♂・令花♀ペアリング。
11/12	ニホンコウノトリ	前日採食なし。アユ給餌するとすぐにつついてきた。
11/13		インコ舎東西窓の冬囲い。
11/16	カナダヤマアラシ	舎サッシ取付け。
11/20		老人と子供の家で2日続けてクマガが出没し、駆除された。子グマだった。
11/21	ツキノワグマ	ルビー♀ 脱走、麻酔投与し捕獲完了。
11/22	トナカイ	臨時休園。 ルドルフ♂ 両角落角、しなの♀ 頭絡装着。
11/26		再開園。
11/29	アフリカゾウ	ドラム缶フィーダー午前中設置。
12/1	カピバラ アフリカゾウ	群れ飼育のマカロニ♂、ドリア♂間で闘争による外傷あり。経過観察。 トレーニング時、耳付近にホース近づける。腸管輸液練習本日から開始。 小動物舎、は虫類出入り扉取付け。
12/2		フラミンゴ舎天井ネット撤去作業。
12/3	フラミンゴ	室内給餌スタート。 キジ舎冬囲い。
12/5	トナカイ	また順位が変わったようで、しなの♀が兩端にマウントしていた。
12/10	トナカイ	ルドルフ♂と春來♂の飼育場所交換。
12/12		チンパンジー舎:モート凍結防止のためのポンプの電源取付け。
12/18	タテガミヤマアラシ	♀入れ替え。 クマ冬眠用の箱組立て。
12/20	カピバラ	4頭群れ(落花♀以外)×ぎんた♂闘争による傷あり。
12/21	スバルバルライチョウ ニホンアナグマ	コッシー♂ 体重測定実施、900g。 冬ごもりに向け、今日から給餌量減少。
12/22		イヌワシ巢(1層目40cm枝)設置。
12/23		動物脱出演習。
12/27	アムールトラ ツキノワグマ	シュウ♂ 整腸剤・消化管機能改善薬内服、同居時、左前肢を軽度負傷。 カサンドラ♀ 発情弱くなりつつある。 ルビー♀ 冬ごもり開始。

お客様の声

- 8/3 道脇の花が色鮮やかで和みました。カンガルーの気性が優しく、エサを食べる姿が可愛かった。
- 8/13 トナカイの放牧で池の中をおよいでいてびっくり、初めて見ました。良い物見れました。
毎回子供と一緒に来ていますが、動物に会えるのを心待ちにしているのは母である私の方だったりします。毎回楽しい時間を過ごしています。
- 8/15 イベントに参加して、コアなファンの方々が多くなることを知った。こうしたコミュニティがあることを嬉しく思った。応援しています!
- 9/17 地元秋田を離れ生活をしていますが、久々に来られて嬉しかったです。よりこの園が賑わい、笑顔を届けられるように願っています。
- 10/7 レッサーパンダのケンシンが見違うほどきれいに回復していて驚きました。どの動物たちも大切にされているのだと改めて思いました。
- 10/17 年に2回の帰省のタイミングで必ず来園しています。落ち着いてリラックスできる空間で動物たちと触れ合えて、本当に満足しています。



かたがた通信

昨年の5月に異動して来た、動物園の施設担当1年生です。施設や設備の管理・修繕が主な仕事です。そうした仕事のひとつに「ハチの駆除」があります。ハチは、園路沿いの植栽や獣舎の中など、様々なところに巣を作ります。ある日、いつものようにハチを駆除した後、少し離れた東屋から「ハチがいなくなってゆっくり休めるね」と話す親子の声が聞こえてきました。なかなか気付いてもらうことの少ない裏方の仕事ですが、気付いてもらえたり、感謝してもらえると嬉しいものだなと改めて感じました。(横田)

発行/秋田市大森山動物園

〒010-1654 秋田市浜田字湯端154番地 TEL:018-828-5508 FAX:018-828-5509
E-mail:ro-inzo@city.akita.lg.jp デザイン・印刷/株式会社アートシステム

◎動物取扱業者/秋田市長 沼谷 純 ◎事業所及び所在地/秋田市大森山動物園 秋田市浜田字湯端154番地
◎登録に係る動物取扱業の種別/販売:動-19-52 貸出し:動-19-53 展示:動-19-54
◎登録の年月日/2007年6月1日 ◎有効期限の末日/2027年7月31日 ◎動物取扱責任者/高橋 広志、山上 昇

大森山動物園

検索

www.city.akita.lg.jp/zoo/index.html

